



環境保全型農業直接支払交付金導入促進事業補助金の募集開始について

～環境にやさしい営農活動を支援します～

近年、地球温暖化や激甚化する自然災害等の環境課題が深刻となる中、京都市では「2050年二酸化炭素排出量正味ゼロ」の達成に向け、減農薬栽培などの環境負荷の軽減に配慮した「環境保全型農業」を推進しています。

今後、より一層「環境保全型農業」を普及拡大するために、「環境保全型農業直接支払交付金導入促進事業補助金」について、令和4年度の補助対象者を募集しますのでお知らせします。

環境保全型農業直接支払交付金導入促進事業補助金

(1) 事業概要

国の環境保全型農業直接支払交付金の要件（化学肥料及び化学合成農薬の5割以上の低減等）を緩和した上で、地球温暖化防止や生物多様性の保全に資する営農活動を支援

(2) 申請受付期間

令和4年5月24日（火）～令和5年3月1日（水）

※ 申請受付期間締切日の当日消印有効。

※ 申請受付期間中においても、補助申請の総額が予算の上限に達した場合は、受付を終了します。

(3) 補助対象者

農産物を販売し、補助対象取組を行う農業者2戸以上で組織する団体
（ただし、既に国の環境保全型農業直接支払交付金の受給者は対象外）

(4) 補助上限 1団体あたり10万円

(5) 補助対象取組及び補助金の額

取組内容	交付単価 (円/10a)
(1) 炭素貯留効果の高い堆肥の施用	4,400
(2) カバークロップ	6,000
(3) 化学農薬及び化学肥料不使用の取組 ア そば、あわ、ひえ、きび及び飼料作物を対象とするもの イ そば、あわ、ひえ、きび及び飼料作物以外を対象とするもの （このうち、炭素貯留効果の高い取組（（1）、（2）、（4）、（5）又は（6）のいずれか1つ以上）を実施する場合に限り2,000円を加算）	3,000 12,000
(4) リビングマルチ うち、小麦・大麦等を作付けした場合	5,400 3,200
(5) 草生栽培	5,000
(6) 炭の投入	5,000

（裏面に続く）

取組内容	交付単価 (円/10a)
(7) 長期中干し	800
(8) 秋耕	800
(9) 不耕起播種	3,000

【活用例】

堆肥の施用・炭の投入



牛ふん堆肥や炭などの有機物を土壤にすき込み、土壤中に炭素を貯留することで、地球温暖化防止につながります。

カバークロップ



作物栽培の前後に、レンゲなどそれ自体は収穫しない作物を栽培し、土壤にすき込む取組。堆肥や炭と同様に、土壤中に炭素を貯留することで地球温暖化防止につながります。

秋耕



秋に耕起を実施して稲わらを土壤にすき込むことで、稲わらの好気分解を促進し、翌春の水稻栽培（湛水）時のメタン（温室効果ガス）排出削減につながります。

申請書様式

以下のURLまたは二次元コードよりホームページへアクセスし、申請書をダウンロードしてください。

環境保全型農業直接支払交付金導入促進事業補助金

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000297399.html>



申請書提出先・問合せ先

【北部農業振興センター】

担当：北区，上京区，左京区（花脊，広河原，久多地域除く），中京区，右京区（京北地域除く）
 所在：〒603-8511 北区紫野東御所田町 33-1 北区役所本庁舎 2階
 電話：075-366-2010

【南部農業振興センター】

担当：東山区，山科区，下京区，南区，伏見区
 所在：〒612-8511 伏見区鷹匠町 39番地の2 伏見区役所 3階
 電話：075-585-3202

【南部農業振興センター 洛西分室】

担当：西京区
 所在：〒610-1198 西京区大原野東境谷町二丁目 1-2 西京区役所洛西支所 2階
 電話：075-323-7321

【京北・左京山間部農林業振興センター】

担当：右京区京北地域，左京区花脊・広河原・久多地域
 所在：〒601-0251 右京区京北周山町上寺田町 1-1 京北合同庁舎
 電話：075-852-1817